

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第46週（11月12日～11月18日）

## ★ お知らせ

### ○ 感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の3.33から5.10に増加しました。嘔吐・下痢・腹痛・発熱などの症状を引き起こし、ほとんどの方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡する事があります。感染力は大変強く学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあります。症状が消失した後も、約1週間は便の中にウイルスが排出される可能性があります。感染を拡げないために、帰宅後の手洗い・うがい、食事前やトイレの後には必ず手を洗いましょう。また、消毒には次亜塩素酸ナトリウムを使用するか、85℃以上で1分以上の加熱が必要です。

### ○ 水痘に注意して！

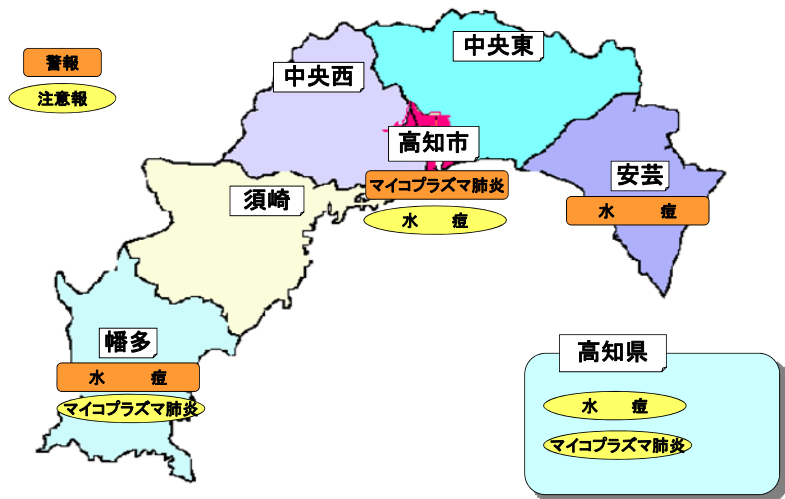
定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の1.60から2.13に増加し注意報値を超えました。臨床経過は一般的に軽症で、倦怠感、掻痒感、38度前後の発熱が2～3日間続く程度であることが大半ですが、成人ではより重症化しやすいです。感染力は強く、発疹出現の1～2日前から出現後4～5日、あるいは痂皮化するまで伝染力があるのでヒトとの接触をさけることが重要です。例年冬季に流行しているので引き続き手洗い、うがいの一般的な予防方法の励行に努めましょう。

## ★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数(人)	県内の傾向
感染性胃腸炎	<span style="color:magenta">↗</span>	5. 1 0	中央西、高知市、須崎、幡多で増加した。流行のシーズンなので注意が必要。
水痘	<span style="color:magenta">↗</span>	2. 1 3	幡多、須崎、中央東で増加した。幡多、安芸では警報値を、高知市では注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
マイコプラズマ肺炎	<span style="color:red">↑</span>	1. 7 5	高知市で13名、幡多で1名の報告があり、高知市で警報値を、県全域と幡多では注意報値を超している。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color:yellow">→</span>	0. 5 7	幡多、高知市、中央東で増加した。流行のシーズンなので注意が必要。
突発性発疹	<span style="color:magenta">↗</span>	0. 5 3	幡多、中央東、高知市で増加した。

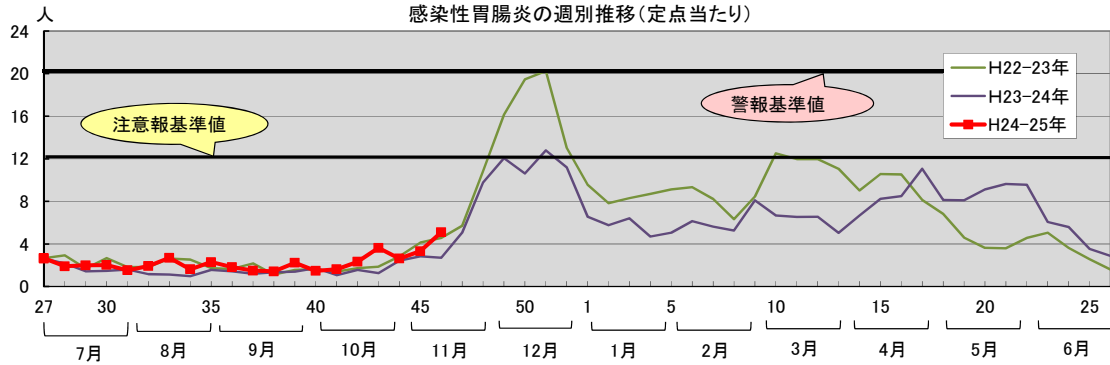
## ★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

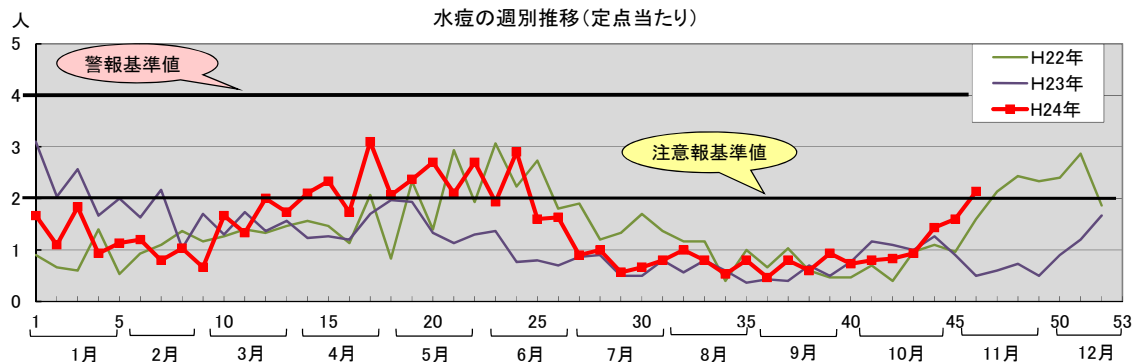
○ **感染性胃腸炎：5.10**（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり5.10（前週：3.33）と増加しています。中央西（9.33）高知市（7.18）須崎（3.00）、幡多（1.20）と県中西部で約2～3倍に増加しているので注意してください。予防方法は、手洗いです。特に、排便後、調理や食事の前には十分に手を洗いましょう。



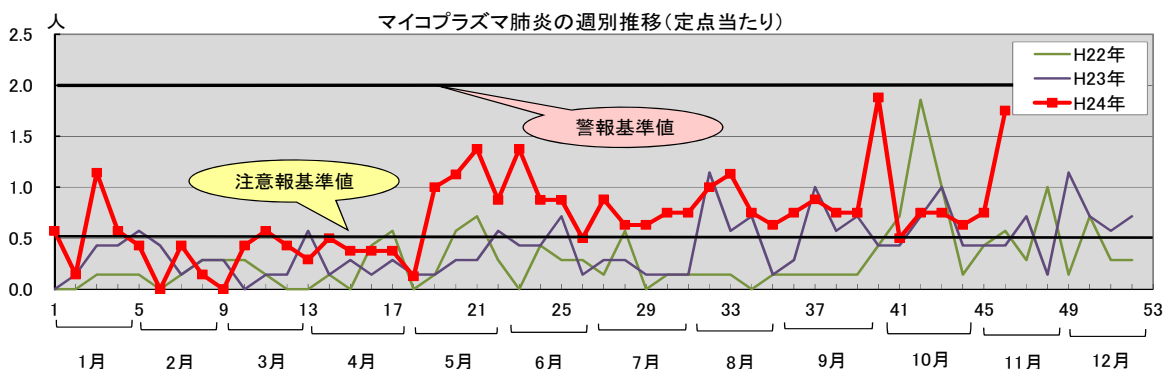
○ **水痘：2.13**（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり2.13（前週：1.60）と増加し、注意報値を超えています。幡多（5.40）須崎（1.00）中央東（0.29）で増加し、幡多、安芸（4.00）では警報値を、高知市（2.09）では注意報値を超えています。例年冬季に流行しているので今後注意してください。予防方法は、感染源のヒトとの接触を避けることが重要です。また、飛まつ感染や接触感染を起こすため、うがいと手洗いを行ってください。



○ **マイコプラズマ肺炎：1.75**（注意報値：0.50 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり1.75（前週：0.75）と増加し注意報値を超えています。高知市（2.60）では警報値を、幡多（1.00）では注意報値を超えています。病原体定点からは、肺炎マイコプラズマ（*Mycoplasma pneumoniae*）が3例検出されており、報告定点以外の医療機関からも患者情報が報告されています。予防方法は手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けることです。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	百日咳	1	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
46	急性肝炎	9	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
46	マイコプラズマ気管支炎	5	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
44	急性肝炎	1	女	高知市	Adenovirus NT
44	手足口病	1	男	須崎	Coxsackievirus A5
44	不明発疹症	6ヶ月	男	須崎	Human herpes virus 6
45	ヘルパンギーナ	2	女	須崎	Coxsackievirus A2
45	ヘルパンギーナ	1	男	須崎	Coxsackievirus A2
45	突発性発疹様	5	男	中央東	Human herpes virus 6
45	不明発疹症	13	男	須崎	Human herpes virus 6
45	不明発疹症	13	男	須崎	Human herpes virus 7

\* 「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	2	126	80歳代（女）	安 芸
				50歳代（男）	高知市

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	吉本小児科皮膚科	マイコプラズマ肺炎 1例（11歳男）
	早明浦病院小児科	カンピロバクターと病原性大腸菌 O-152 の感染 1例（7歳男）
	あけぼの小児クリニック	アデノウイルス扁桃炎 1例（3歳）
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 5例（5、8、13歳男、10、38歳女）
	国立病院機構高知病院小児科	アデノウイルス感染症 1例（3歳女）
	細木病院小児科	ノロウイルス（+） 1例（0歳女）
	福井小児科・内科・循環器科	ヘルペス歯肉口内炎 1例（8歳男）
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 5例 （5歳女、6歳男（兄妹）、6ヶ月男、1歳女：須崎市、10歳男：いの町）
須 崎	もりはた小児科	帯状疱疹 1例（7歳女） 単純疱疹 1例（6歳男） アデノ扁桃炎 1例（2歳男）
幡 多	幡多けんみん病院小児科	アデノウイルス扁桃炎 1例（1歳男）
	松谷内科	異型肺炎がここ 2週間の間に 2例ありました。

## ★ 全国情報

### 第44週 (10/29～11/4)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核366例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症33例

4類感染症：A型肝炎3例、エキノコックス症1例、つつが虫病4例、デング熱4例、日本紅斑熱5例、マラリア1例、レジオネラ症13例、レプトスピラ症2例

5類感染症：アメーバ赤痢13例、ウイルス性肝炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群17例、ジアルジア症1例、髄膜炎菌性髄膜炎1例、梅毒10例、破傷風3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん17例、麻しん3例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、パラチフス1例、E型肝炎2例、レプトスピラ症4例、急性脳炎7例

### ◆ 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様な原因によるものを包含する症候群名である。全国約3,000カ所の小児科定点からの患者発生報告数が増加するのは冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染を原因とするものであると推測される。また、患者発生のピークは例年12月中となることが多く、同時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられている。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は数時間～数日（平均1～2日）で、主な症状は嘔気・嘔吐及び下痢であり、嘔吐・下痢は1日数回から多いときには10回以上のこともある。しかし、症状持続期間は数時間～数日（平均1～2日）と比較的短く、以前から他の病気がある等の要因がない限りは、重症化して長期にわたり入院を要することは少ない。また、発熱の頻度は高くはない。特効薬はなく、治療は対症療法となるが、最も重要なことは水分補給によって脱水を防ぐことである。

ノロウイルスの感染経路としては、以前は食中毒としての経口感染がよく知られていたが、感染後の発症者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト→ヒト感染があり、その感染力は非常に強い。乳幼児の集団生活施設である保育所や幼稚園、小児の集団生活施設である小学校等においては、これら接触感染や飛沫感染等により、集団発生が繰り返されてきているものと推察される。また、2006年12月の東京都豊島区のホテルにおいて発生した集団感染事例のように、「吐物や下痢便の処理が適切に行われなかったために残存したウイルスを含む小粒子が、掃除などの物理的刺激によって舞い上がり、それを間近とは限らない場所で吸引し、経食道的に嚥下して消化管へ至る感染経路」である「塵埃感染」が発生する場合がある。ノロウイルスの感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要である。

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎は全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいている。2012年第44週の定点当たり報告数は5.58（報告数17,562）と3週連続で増加がみられている。都道府県別では兵庫県（13.33）、福岡県（13.33）、石川県（11.90）、宮崎県（10.03）、大阪府（9.66）、熊本県（9.58）、大分県（8.58）の順となっている。定点当たり報告数の全国値（5.58）を上回っているのは近畿、中国、四国、九州の西日本地域が多いが、第44週は39都道府県で前週の報告数を上回っている。2012年第36～44週の定点当たり累積報告数は32.23（累積報告数101,713）であり、年齢群別では0～1歳27.4%、2～3歳20.7%、4～5歳16.1%、6～7歳9.4%の順となっている。

感染性胃腸炎の報告数は11月に入ると急増し、12月中旬にそのピークを迎えるという流行を例年繰り返してきている。2012年は10月中旬の第42週以降3週連続して増加が続いており、第44週の定点当たり報告数（5.58）は2000年以降の同時期では2006年に次ぐ高い値となっている。感染性胃腸炎の報告数の推移には今後とも注意深い観察が必要である。

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第46週 平成24年11月12日(月)～平成24年11月18日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第46週							計	前週	全国(45週)	高知県(46週未累計) H24/1/2～H24/11/18	全国(45週未累計) H24/1/2～H24/11/11
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ				1					1 ( 0.02)	3 ( 0.06)	535 ( 0.11)	16,418 ( 342.04)	1,636,981 ( 333.33)
小児科	咽頭結膜熱				1					1 ( 0.03)	1 ( 0.03)	858 ( 0.27)	157 ( 5.23)	44,697 ( 14.23)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				3	9	1	2	2	17 ( 0.57)	17 ( 0.57)	5,226 ( 1.66)	1,848 ( 61.60)	236,783 ( 75.38)
	感染性胃腸炎		5	29	79	28	6	6	6	153 ( 5.10)	100 ( 3.33)	27,565 ( 8.75)	7,052 ( 235.07)	884,782 ( 281.69)
	水痘		8	2	23	2	2	27	64 ( 2.13)	48 ( 1.60)	3,448 ( 1.09)	2,099 ( 69.97)	156,145 ( 49.71)	
	手足口病					1				1 ( 0.03)	1 ( 0.03)	1,857 ( 0.59)	118 ( 3.93)	63,464 ( 20.21)
	伝染性紅斑			1	1				2	4 ( 0.13)	6 ( 0.20)	154 ( 0.05)	844 ( 28.13)	19,908 ( 6.34)
	突発性発疹			2	9	2	1	2	2	16 ( 0.53)	10 ( 0.33)	1,905 ( 0.60)	621 ( 20.70)	81,129 ( 25.83)
	百日咳				1					1 ( 0.03)	3 ( 0.10)	70 ( 0.02)	323 ( 10.77)	3,670 ( 1.17)
	ヘルパンギーナ				1				1	2 ( 0.07)	5 ( 0.17)	266 ( 0.08)	825 ( 27.50)	113,386 ( 36.10)
	流行性耳下腺炎			2	4			1	3	10 ( 0.33)	5 ( 0.17)	1,254 ( 0.40)	671 ( 22.37)	64,116 ( 20.41)
RSウイルス感染症			7	2	1	1	1		11 ( 0.37)	15 ( 0.50)	3,511 ( 1.11)	863 ( 28.77)	71,401 ( 22.73)	
眼科	急性出血性結膜炎									( )	( )	5 ( 0.01)	1 ( 0.33)	423 ( 0.62)
	流行性角結膜炎				1					1 ( 0.33)	1 ( 0.33)	390 ( 0.57)	44 ( 14.67)	16,879 ( 24.79)
基幹	細菌性髄膜炎									( )	( )	15 ( 0.03)	8 ( 1.14)	420 ( 0.90)
	無菌性髄膜炎									( )	( )	14 ( 0.03)	23 ( 3.29)	817 ( 1.75)
	マイコプラズマ肺炎				13			1	14 ( 1.75)	6 ( 0.75)	589 ( 1.26)	210 ( 30.00)	19,762 ( 42.32)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								( )	( )	17 ( 0.04)	13 ( 1.86)	741 ( 1.59)	
計 (小児科定点当たり人数)		13 ( 6.50)	46 ( 6.58)	145 ( 11.87)	35 ( 11.66)	13 ( 6.50)	44 ( 8.60)	296 ( 9.34)		47,679	32,138 ( 856.08)	3,415,504		
前週 (小児科定点当たり人数)		24 ( 12.00)	48 ( 6.86)	100 ( 8.37)	24 ( 8.00)	10 ( 5.00)	15 ( 3.00)		221 ( 7.09)					

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第46週							計	前週	全国(45週)	高知県(46週未累計) H24/1/2～H24/11/18	全国(45週未累計) H24/1/2～H24/11/11
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ				0.06					0.02	0.06	0.11	342.04	333.33
小児科	咽頭結膜熱				0.09					0.03	0.03	0.27	5.23	14.23
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.43	0.82	0.33	1.00	0.40	0.57	0.57	1.66	61.60	75.38	
	感染性胃腸炎		2.50	4.14	7.18	9.33	3.00	1.20	5.10	3.33	8.75	235.07	281.69	
	水痘		4.00	0.29	2.09	0.67	1.00	5.40	2.13	1.60	1.09	69.97	49.71	
	手足口病					0.33			0.03	0.03	0.59	3.93	20.21	
	伝染性紅斑			0.14	0.09			0.40	0.13	0.20	0.05	28.13	6.34	
	突発性発疹			0.29	0.82	0.67	0.50	0.40	0.53	0.33	0.60	20.70	25.83	
	百日咳				0.09				0.03	0.10	0.02	10.77	1.17	
	ヘルパンギーナ				0.09			0.20	0.07	0.17	0.08	27.50	36.10	
	流行性耳下腺炎			0.29	0.36		0.50	0.60	0.33	0.17	0.40	22.37	20.41	
RSウイルス感染症			1.00	0.18	0.33	0.50		0.37	0.50	1.11	28.77	22.73		
眼科	急性出血性結膜炎									0.01	0.33	0.62		
	流行性角結膜炎				1.00			0.33	0.33	0.57	14.67	24.79		
基幹	細菌性髄膜炎									0.03	1.14	0.90		
	無菌性髄膜炎									0.03	3.29	1.75		
	マイコプラズマ肺炎			2.60			1.00	1.75	0.75	1.26	30.00	42.32		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.04	1.86	1.59		
計 (小児科定点当たり人数)		6.50	6.58	11.87	11.66	6.50	8.60	9.34		856.08				
前週 (小児科定点当たり人数)		12.00	6.86	8.37	8.00	5.00	3.00		7.09					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869